

17 パナソニックシステムネットワークス(株) システムソリューションズジャパンカンパニー ▶東京急行電鉄(株)(二子玉川駅・渋谷駅)【東京都】

大型デジタルサイネージシステム

堅牢性に優れた大画面ディスプレイと、高輝度で鮮明な映像を表示するディスプレイ、それぞれの特色を活かした、訴求力の強いデジタルサイネージシステムを構築(2015年7月)。

背景

東京と神奈川を結ぶ東急電鉄では二子玉川及び渋谷の再開業事業にあわせて、交通広告設備を刷新した。従来は紙や印刷媒体を中心に交通広告を展開していたが、①「広告がデジタル媒体に移行している」、②「2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、コンテンツの多言語化が急務になっている」という理由から、ディスプレイを使用した新しい交通広告媒体を検討し、「二子玉川駅全面サイネージ」と「渋谷駅ビッグサイネージ」を設置する事になった。

概要

「二子玉川駅全体サイネージ」

- ファミリー層や女性からの人気が高いエリアである二子玉川駅の再開業事業は「日本一働きたい街」がテーマ。
- 乗降客の一層の増加が見込まれる事から、改札口からホーム車両までの人の動線に沿って、駅全体を鉄道広告媒体として発信。

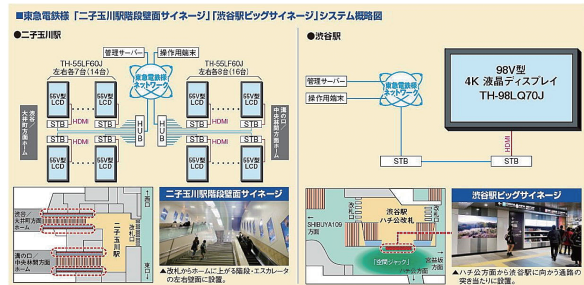
- 82台のディスプレイによる人の動線に沿ったサイネージを展開。
- 明るい照明下でも映像を鮮明に表示する高輝度ディスプレイを使用。

「渋谷ビッグサイネージ」

- 1日110万人以上(2013年度)の乗降人員があり、非常に人通りの多い駅であることから、大画面・高精細・高い堅牢性が求められた。

- 4K98V型の大画面液晶ディスプレイを使用。
- 高精細4K映像：鮮明な映像を再現し、近距離視聴でもきめ細かい映像を提供。
- 4K98V型大型液晶ディスプレイにサイネージコントローラ(STB)をHDMI接続し、表示するコンテンツデータや制御信号は、東急電鉄のネットワークを介して配信。

「二子玉川駅階段壁面サイネージ」「渋谷駅ビッグサイネージ」システム概略図



第一期工事システム概略図



二子玉川駅改札の外にも天吊りで設置

二子玉川駅利用者の動線に沿って複数のディスプレイを設置

リアルできめ細かい4K映像

アピールポイント

■「二子玉川駅全体サイネージ」

- ・液晶ディスプレイ82台それぞれにサイネージコントローラ(STB)をHDMI接続し、各モニター筐体の中に設置。
- ・コンテンツデータや制御信号は、東急電鉄のネットワーク経由で配信され、各ディスプレイを個別に操作ができ、表示するコンテンツをそれぞれに割り当てられるなど、柔軟な運用が可能。

■「渋谷ビッグサイネージ」

- ・本体前面に保護ガラスを採用し、万一人が当たっても壊れにくいディスプレイを使用することで、人通りが多い場所での運営が実現。さらに本体保護用のケースなどを使用せずに設置できるため、コストと工期を低減。